

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 Ramucirumab+FOLFIRI療法 (infuser pump)
疾患名	大腸癌
診療科名	外科
登録医師名	大塚 真哉
適応	進行・再発大腸癌の2次治療以降

臨床区分

<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類

<input type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2016年9月15日
1クール期間	14日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	NaCl 0.9% 100単位/mL注射液 10r	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	生理食塩液 パロノセトロン静注0.75mg デキサメトゾン注射液 6.6mg ホウライミン注5mg	100 1 1 1	mL 瓶 瓶 管	点滴静注	側管	15min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	生理食塩液 サイラムザ点滴静注液	適宜調整 8	mL mg/kg	点滴静注	メイン	60min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1) フィルター付き点滴セット使用 2) 投与速度：25mg/minを超えないこと。 3) 投与前後で生理食塩液でラインをフラッシュすること。 4) 全量250mLに調製する。
6	5%糖液 レボホリナート点滴静注用	250 200	mL mg/m ²	点滴静注	メイン	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとイリノテカンは同時に
7	5%糖液 イリノテカン塩酸塩点滴静注液	250 150	mL mg/m ²	点滴静注	側管	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとイリノテカンは同時に
8	フルオロウラシル点滴静注 生理食塩液	400 50	mg/m ² mL	点滴静注	側管	全開で	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナート終了後 15分以内で投与終了
9	フルオロウラシル点滴静注 生理食塩液	2400 50	mg/m ² mL	持続点滴	側管	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	インフューザーポンプ（46時間） 全量110mLに調製する。
10	NaCl 0.9% 100単位/mL注射液 10r	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

備考欄

文献
Ramucirumab versus placebo in combination with second line FOLFIRI in patients with metastatic colorectal carcinoma that progressed during or after first line therapy with bevacizumab, oxaliplatin, and a fluoropyrimidine (RAISE): a randomised, double-blind, multicentre phase 3 study

減量・中止基準

5-FU：T-Bil>5.0の場合、投与中止
CPT-11：白血球数<3000/mm³または血小板数<100000/mm³の場合は、投与中止または延期

<Ramucirumab:休薬、中止基準の確認>

副作用	処置
高血圧	症候性のGrade2以上またはGrade3以上 降圧薬による治療を行い、血圧がコントロールできるようになるまで休薬する。コントロールができない場合は、投与を中止する。
蛋白尿	1日蛋白尿量2g以上 初回発現時:1日蛋白尿量2g未満に低下するまで休薬し、再開する場合には6mg/kgに減量する。
	1日蛋白尿量3g以上 またはネフローゼ症候群を発現 2回目以降の発現時:1日蛋白尿量2g未満に低下するまで休薬し、再開する場合には5mg/kgに減量する。 投与を中止する